

IFRS関連サービス

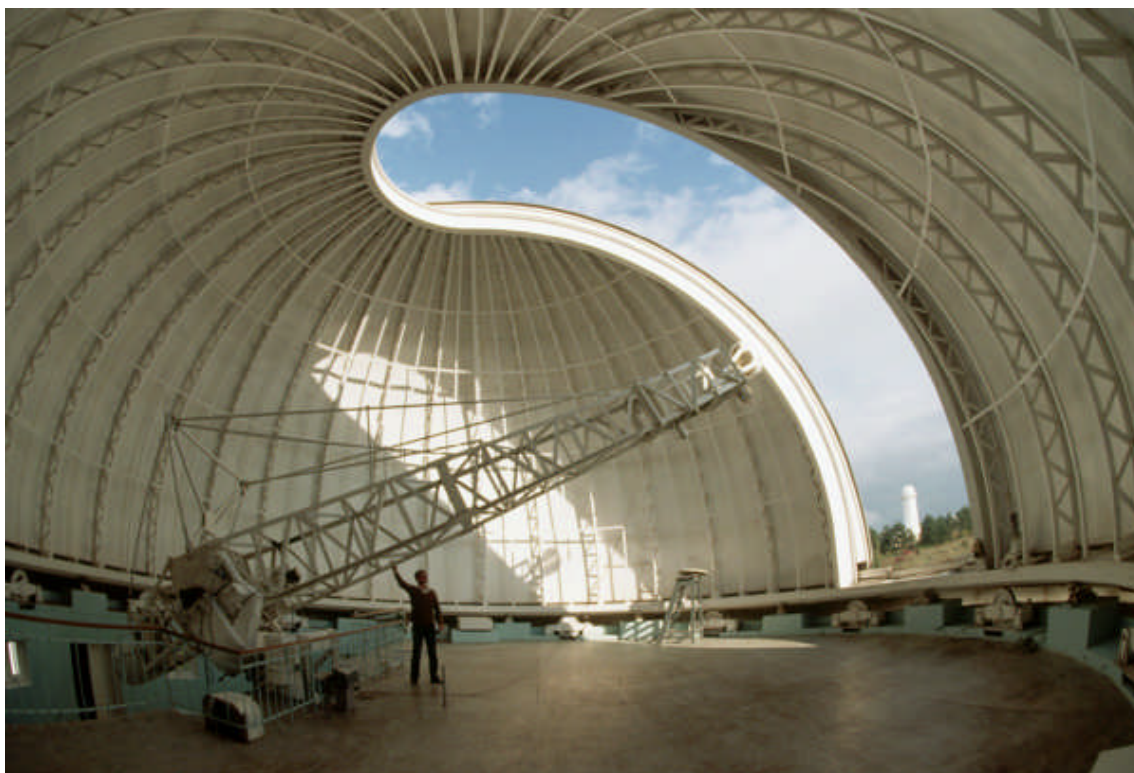
SAPでのシステム対応支援サービス



IFRS に対応するためには、会計基準や業務を変更するだけでなく、システムについても広範囲の改修が求められます。日本でも多くの企業が導入している SAP を、短期で IFRS 対応させたいというニーズに応えるために、PwC (プライスウォーターハウスクーパース) では、欧州や韓国における SAP の IFRS 対応の先行事例や、日本における多くの導入経験をもとに、実機検証済みの SAP 対応ソリューションを開発しました。

また、IFRS 対応に伴い会計基準が統一されることを機に、業務の標準化およびコードの統一、データの標準化、システム基盤の統一など、経営基盤強化に向けた整備事項に取り組む企業も増えてきております。

PwC は、SAP を既に導入している企業をはじめ、これから新規導入やグループ会社展開を検討している企業を対象に、IFRS 対応に伴う SAP 改修・導入を支援します。



IFRS の適用により、会計のみならず、販売や在庫管理といった業務プロセスの変更を求められる可能性があります。それに伴い、会計システム及び業務システム(販売管理・在庫管理システム等)への影響を分析し、対応することが望まれます。さらに IFRS 対応は、業務の標準化、システムの共通化のチャンスでもあり、グループ経営管理基盤の強化という視点も含めて対応すべきであると考えます。

IFRS 対応

IFRS 適用に伴う業務・システムへの影響を適切に分析し、いかに短期で対応するかがポイントになります。

特に SAP については、IFRS が先行適用されている欧州や韓国でも数多くの会社が使用しているため、それらの事例を活用することで、短期での対応が可能になると考えます。

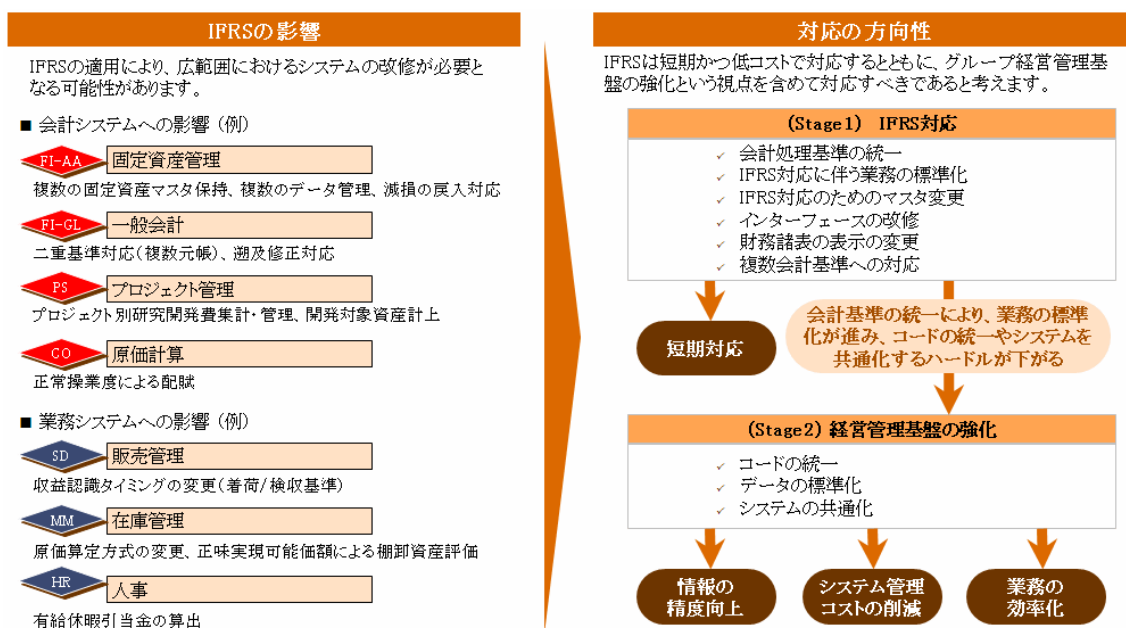
経営管理基盤の強化

欧州や韓国の事例でも、IFRS 対応によりグループ全体で会計基準が統一され、業務の標準化が促進されることで、コードの統一やシステムを共通化するハードルが下がる傾向にあります。

そこで、IFRS 対応を機にコードの統一、データの標準化、システムの共通化を実施し、経営管理基盤の強化を行う企業が増えてきています。

たとえば、コードの統一やデータの標準化により、読み替えなど変換作業が効率化されるなど、グループ会社の経営状況がタイムリーかつ正確に把握できるようになります。また、業績評価指標をグループ内で統一し、比較管理することも可能になります。

さらに業務が標準化され、システムを共通化できれば、低コストオペレーションを実現できるとともに、本社で末端データまで管理することができるようになるため、グループ会社の経営に関して、本社によるマネジメントが可能になると考えられます。



PwC では、SAP を既に導入している会社およびこれから SAP の導入を検討されている会社に対して、SAP の IFRS 対応、さらには経営管理基盤の強化を支援しています。

① SAP の短期 IFRS 対応支援サービス

PwCは、数多くの導入経験と欧州や韓国での先行事例に関するノウハウを活用し、IFRS SAP 対応ソリューションを開発しました。

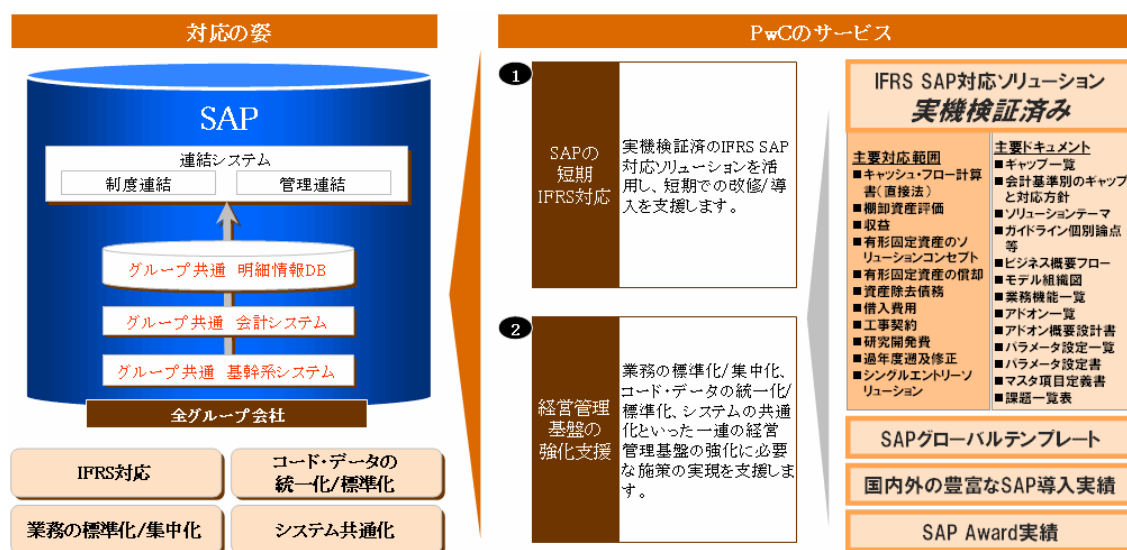
IFRS SAP 対応ソリューションは、システムに影響がある IFRS の論点を対象に、対応方針、業務フロー、パラメータ設定方法など一連の対応方法をドキュメント化したものです。特にパラメータ設定については、SAP の実機を使用して検証まで行っています。

当ソリューションを活用することで、SAP の IFRS 対応の短期実現を支援します。

② 経営管理基盤の強化支援サービス

グループ内の業務の標準化、シェアードサービスセンター化、勘定科目等のマスタ統合によるメンテナンス業務負荷の削減、システム基盤の統一などの施策の実行により、継続的な低コストオペレーションの実現を支援します。

また、現状のグループ経営管理について、経営判断に役立つ情報が整備されているかどうかを「切り口・粒度(事業、製品、顧客等)」、「範囲(業績管理指標、科目)」、「スピード」、「精度」の観点から分析の上、課題の抽出と解決策の検討を行うなど、新しいグループ経営管理の仕組み作り、グローバル業績管理指標の設計、グループ標準システムの国内外への導入・展開を一貫して支援することで、経営管理基盤の強化を実現します。



PwC の強み

SAP の IFRS 対応、さらに経営管理の基盤の強化を実現するためには、会計業務とシステムに関する深い知識と経験が求められます。

PwC は、社内に財務・会計、情報システム導入それぞれの専門家を擁しています。会計面については、あらた監査法人と連携したサービスを提供できる体制を備えているとともに、システム面については、国内外の豊富な SAP 導入実績が評価され、SAP 社より多数の Award を受けています。

また、当社のグローバル・ネットワークを活用することで、グローバルな規模のプロジェクトニーズにもお応えします。

上記の強みを活かし、SAP を既に導入している会社およびこれから SAP の導入を検討されている会社に対して、SAP の IFRS 対応、さらには経営管理基盤の強化の実現を支援します。

お問い合わせ先:

PwC Japan IFRS プロジェクト室 03-3546-8192 aarata.ifrs@jp.pwc.com



プライスウォーターハウスクーパース株式会社 | 〒104-0061 東京都中央区銀座 8-21-1 住友不動産汐留浜離宮ビル
TEL (代表): 03-3546-8480 | Fax: 03-3546-8481 | Our Site: <http://www.pricewaterhousecoopers.co.jp/>

本資料は概略的な内容を紹介する目的で作成されたもので、プロフェッショナルとしてのアドバイスは含まれていません。個別にプロフェッショナルからのアドバイスを受けることなく、本冊子の情報を基に判断し行動されないようお願いします。本冊子に含まれる情報は正確性または完全性を、(明示的にも暗示的にも)表明あるいは保証するものではありません。また、本冊子に含まれる情報に基づき、意思決定し何らかの行動を起こされたり、起こされなかったことによって発生した結果について、プライスウォーターハウスクーパース株式会社、およびメンバーファーム、職員、代理人は、法律によって認められる範囲においていかなる賠償責任、責任、義務も負いません。

© 2011 PricewaterhouseCoopers Co., Ltd. All rights reserved. In this document, “PwC” refers to PricewaterhouseCoopers Co., Ltd., which is a member firm of PricewaterhouseCoopers International Limited, each member firm of which is a separate legal entity.